

あっ！あぶない ～歯ブラシによる事故～

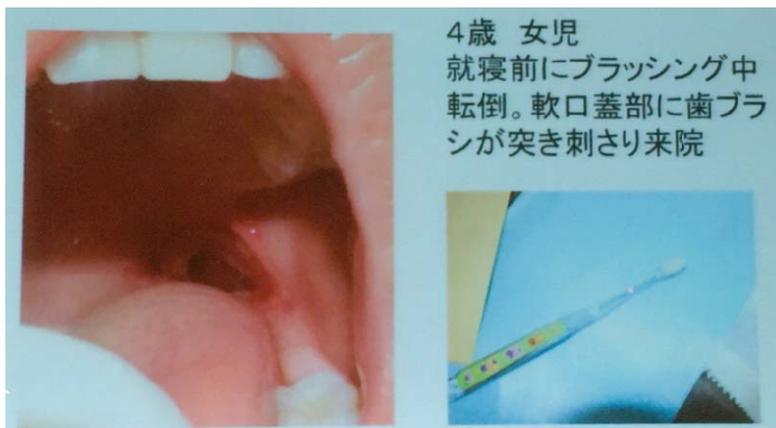
我々歯科医師は今まで歯ブラシの必要性を患者さんに伝えてきました。今回は思わぬ危険性についてお話します。

それは救急車の出動要請で歯ブラシの突き刺し事故が年間にかなりの数があるということです。特に幼児において歯ブラシの習慣性を促すために保護者が歯ブラシを幼児用に与えておもちゃ代わりに遊んでいるうちに突き刺し事故が発生するといった事が報告されています。

不幸にしてそのような事故が発生してしまったら、突き刺したもの(歯ブラシに限らず、箸、おもちゃ等も含めて)病院に持参して、頭頸部のレントゲンを含めた検査は必ずうけていただきたいと思います。

もちろんこのような不幸な事故をおこさないように、口にもものを入れたまま動いたりしない、またおもちゃの代わりにしない事はしっかり指導していただきたいと思います。

小児顎顔面外傷 —異物挿入症例—



2歳8カ月 男児
歯磨き中に転倒し歯ブラシが左頬粘膜から刺入。

